

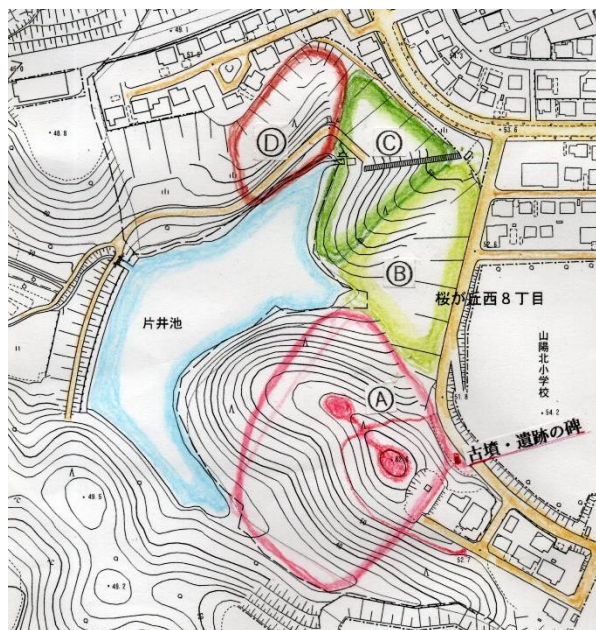
片井池周辺の整備について（ご相談）

桜が丘団地の造成が始まってからほぼ 50 年になります。治水と農業用水のために団地周辺に大小 11 の池が造られて、その一つが西 8 丁目の外れにある片井池ですが ご存知ない方がおられるかもしれません。池の東側から北側にかけての斜面が**保健保安林**に指定されて、本来ならば所有者（当初は大和ハウス、後に赤磐市）によって整備されるべきが放置されたままになっています。この見苦しい現状を豊かな自然にしようと提案しますので、ご理解とご協力をお願いする次第です。

写真は左が 31 年前で池が見え、右が現在で 何れも同じベランダからの眺めですが、変り様の今昔をご理解いただけるかと思います。



この保安林は急斜面で面積が広いため十年余りの長期計画で取り組み、**野鳥の森と池畔を憩い**の場にしたいと思っています。基本的に自分達の手によっても、伐採に危険を伴うのと、搬出に重機使用など、外に頼らざるを得ない面があります。費用を含めて様々な問題を相談してゆきたいと思っています。以下に検討のたたき台を記しますので よろしく願いいたします。



《具体的計画案》左図の④⑧⑩⑪ 4ブロックに分けて順次着手する。

④ブロック：古墳・遺跡の碑背後の高台（仮称**遺跡の丘**）

最初にコンクリートベンチ（2基づつ2ヶ所）の周辺と二方からの進入路を主に整備する。今冬の落葉を待って着手し、伐ったものをとんど祭りで処理を依頼する。

⑧ブロック：池の東側斜面。直立した高木が比較的疎らで冬場には一部の樹間から池の水面が見える。ただし、⑩ブロック寄りには混雑している。

⑩ブロック：池の北寄り斜面で、雑多な中高木が生茂り密林状態。手始めに既存階段を降りて周囲の現状を把握することになるが、立ち入るだけでもニセアカシアの棘があったりして難渋が予想される。

⑪ブロック：池の北西側に居住されるグループに任せる。（斜面の勾配が緩く、樹木も疎らと見受けられる）

展望 普通ならば土建業者か林業家の仕事を 素人が手掛けるのは無理があります。チェーンソーを使っても大木の伐り倒しは危険を伴い、伐木の搬出に重機運転やチェンブロック使用が難しく、自分達の手でできることは限られます。 片井池の管理者・尾谷区と話すこともこれからです。

保健保安林 本来の姿を実現するのは 桜が丘全体の課題でもあります。町内会が市・県にアピール、片井池をそのモデルにすればと考えますが如何でしょうか。皆様との相談で展望が開けるように期待しています。（終）

2025 年 10 月 日

提案者： 杉山一成 中西 卓